

満山喜郎氏叙勲伝達式における林駐英国特命全権大使祝辞

令和3年12月8日

ご列席の皆様、本日は、お忙しい中を満山喜郎（みつやま よしお）さんへの叙勲伝達式のためにお集まりいただき、大変ありがとうございます。

満山さんは、英国に在留されている邦人の方々の間では、特に良く知られた方でいらっしゃると思いますが、私より、満山さんのご経歴とご功績について簡単に触れさせていたきたいと思います。

満山さんは、福島県白河市のご出身です。昭和45（1970）年に大学を卒業され、日本で会社員とされますが、自身の学ばれた貿易学の知識を海外で生かしたいとの気持ちから、会社を約1年半で退職され、昭和46（1971）年9月に渡英されました。英国で当初の間は、いろいろとご苦労されたともお聞きしています。昭和59（1984）年7月にご自身で免税品取扱店のユーロ・アジア・トレーディング株式会社を設立され、同社の店舗を拡大されるとともに業績を伸ばされ、年商約20億円を売り上げる会社に成長させました。約13年後の平成9（1997）年6月には同社を売却されて、日本人留学生等を斡旋するガーディアン・サービス株式会社を設立されました。その約1年後の平成10（1998）年4月には英国の湖水地方への旅行を専門に扱うガーディアン・サービス・トラベル株式会社を設立され、平成24（2012）年5月までの約14年間、代表取締役社長を務められた後、退職さ

れました。

この間、満山さんは、平成5（1993）年2月にロンドンしゃくなげ会（在英國福島県人会）の会長となられ、以降英國在住の福島県出身者の親睦と互助を担ってこられました。平成23（2011）年3月11日の東日本大震災発生後は、同会を率い、地元福島の復興のために英國を中心に約10年もの間尽力されています。

ロンドンにおいて毎年開催されるジャパン祭りでは福島県のブースを設け、福島第一原子力発電所の事故による風評被害を払拭する目的で、福島県産の米、桃、リンゴのジュース、喜多方ラーメン等を販売され、その収益金を福島県に贈り続けておられます。

また、平成24（2012）年7月には、東日本大震災の被害に対する英國の支援に感謝する意味を込めて、ロンドン市内この公邸近くに位置するホランド・パーク内において、被災地の早期復興を願う気持ちを込めた「福島庭園」の開園に尽力されました。

平成26（2014）年7月には英國国会議事堂ウェストミンスター宮殿内において、「起き上がり小法師展」を開催され、会津地方に古くから伝わる郷土玩具の起き上がり小法師に象徴される、福島県の不屈の精神や団結力、復旧・復興に向かう姿などを英国民に紹介されました。

平成28（2016）年3月の東日本大震災5周年においては、福島市の日本舞踊団体「福島里の子会」を招き、メモリアル・コンサートを開催するなどして、英國の

支援に対する感謝の気持ちを伝えられました。

平成25（2013）年2月には福島県において世界9か国から19の福島県人会関係者が集い、在外福島県人会サミットが開催され、福島県の情報を各国で発信する福島応援宣言がまとめられ、世界の福島県人会の連合組織「ワールド福島県人会」が発足し、満山さんは同会の初代会長となりました。

その他福島県のために慈善コンサートを開催する等して福島県復興のために義援金活動を継続されており、これまでの同県に対する義援金の額は、邦貨で約1千万円に上ります。

更に、平成25（2013）年3月より今日まで、英国に永住する日本人の親睦と互助及び日英の親善を目的として設立された「英国日本人会」の理事も務められ、同会の発展に貢献されています。

以上ご紹介しましたとおり、満山さんは、東日本大震災後10年の長きに渡り、故郷である福島県の復興支援に努めてこられ、また、日英友好親善にも尽くしてこられました。復興支援への取り組みは今後も継続されると思いますが、本年が震災10年の節目にあたることから、その多大な功績が認められました。また、同時に、本年は満山さんの在英50周年となる記念すべき年にも当たります。

満山さん、旭日単光章の受章、誠におめでとうございます。

（了）